

# 暮らしの瓦版

2021年  
12月号

(通算第278号)

## ～ 12月《師走しわす》～

- |     |         |     |        |
|-----|---------|-----|--------|
| 3日  | カレンダーの日 | 17日 | 飛行機の日  |
| 4日  | 人権週間    | 22日 | 冬至     |
| 7日  | 大雪      | 25日 | クリスマス  |
| 9日  | 障害者の日   | 30日 | 地下鉄記念日 |
| 10日 | 世界人権デー  | 31日 | 大みそか   |



### クリスマスケーキ

最近はいろいろなケーキが売られていますね。クリスマスケーキといえば、イチゴのシヨートケーキを想像される方が多いのではないのでしょうか？

海外ではクリスマスケーキを食べる習慣がなかったり、日本とはちょっと違ったケーキでお祝いするところもあったりするようにです。ドイツは「シュトレン」、フランスは「ブッシュ・ド・ノエル」、イタリアは「パネトーネ」、イギリスは「クリスマスプディング」と国によって様々です。日本はもともとクリスマスケーキを食べる習慣はありませんでした。しかし、お菓子の老舗メーカーの不二家さんが、1922年に初めて日本でクリスマスケーキを販売しました。「クリスマスにはケーキを食べましょう!」と習慣づけるように呼びかけたそうです。当初は高価でなかなか定着しませんでした。一般的にクリスマスケーキが広まっていったのは、1975年あたりからだそうです。

### 「来年の干支」

来年の干支は寅年です。寅は十二支のひとつ、十二支の中で3番目に数えられます。『寅』は動物の『虎』に対応しています。寅年生まれの性格と特徴は、勇敢で争いごとにも強く、自信に満ち溢れており、他人を魅了するところがあります。ただ時々、「浮かれすぎて度を越してしまう」こともあるようです。また、しっかりとした性格で判断力があり、仕事を通じて大胆に自分を表現することができるそうです。そして大きなことを成し遂げることができ、発言にとても力があると言われると思います。自信家なのでリーダーになるのにいいのではないのでしょうか。あまり準備をしなくても臨機応変に対応することができるみたいですね。



## 師走の過ごし方

12月の和名は師走です。その由来は「師匠の僧が、お経をあげるために東西を馳せるいそがしい月」という説が有力です。昔は13日を「正月事始め」とし、1年の汚れを落とす「すす払い」や、門松などに用いる松を準備しました。これが現代の大掃除へと変わってきました。

二十四節気の冬至を迎えるこの日は、1年で風が最も短い日です。この日を境に風が少しずつ長くなることから「一陽来復（いちようらいふく）」といい、上昇運に転じる日とされています。また、「冬至中冬はじめ」といって、本当の冬の厳しさはこの頃から始まります。そこで、旬を迎えるゆずを浮かべた風呂（ゆず湯）に入ると、風邪をひかず元気に冬を越せるという習わしが生まれました。昔からの習慣には色々な知恵や理由がありますね。



## インフルエンザ対策

インフルエンザは、毎年冬場（特に1月～3月）に流行のピークを迎えます。今年には要注意との話を聞きます。

インフルエンザウイルスは、一般の風邪を引き起こすウイルスよりも感染力が強いです。気道に付着後、20分程度の短時間で細胞の中に取り込まれ、増殖していくと言われています。ウイルスの侵入を防ぐためには、こまめな水分補給が大切なようです。

風邪やインフルエンザの原因となるウイルスは、口や鼻から侵入する可能性が高いです。鼻や気道の粘膜表面は「線毛」という小さな毛に覆われています。この線毛が小刻みに動くことで粘液に流れを作り、ウイルスや雑菌を咳やたんとして排出します。ところが、体の水分量が減ると、線毛がうまく働かず、排出力が低下してしまうとのことです。定期的に水分を補給するようになりたいですね。

## 忘年会

12月になると「忘年会」のシーズンとなります。今年の忘年会も以前のような開催は、なかなかできないかも知れませんね。

忘年会の歴史は意外と古く、鎌倉時代には始まっていたようです。年末に行われていた「年忘れ」という会が起源と言われています。しかし、この会は連歌を読むのが目的で、現在の忘年会とは程遠いものでした。現在の忘年会に近くなったのは江戸時代です。一般庶民が一年間の憂さを晴らすため、親しい者同士が年末に酒を酌み交わすようになったのがルーツとされています。一方、武士は「新年会」は開きましたが、「忘年会」は行いませんでした。この事で町民との身分の違いを見せたのだと言われています。今のような形の宴会は、明治時代に故郷に帰らず東京に居残っていた学生と官僚が始めたそうです。

## ブログ記事ご紹介

### ◎スタイルシェードの設置

先日、スタイルシェードの設置をさせて頂きました。窓の上のボックスから引き下げ、下のデッキのフックに掛けて固定します。生地の色は9種類あり、お好みの色で楽しめます。日差しや気になる視線を遮ることができます。ご興味のある方は、是非ご連絡ください。

リフォーム部 安藤淳一



<10月24日掲載記事>



※ブログ記事は毎日更新！  
ぜひご覧ください！！  
<http://daigo.kazelog.jp/>

## 漢字読めますか？

次の漢字を読んでみてください。

① 懐炉(体を暖めるもの)

② 嗽(口をすすぐこと)

③ 皸(手足の皮膚が乾燥で裂けた)

しする(じつ)

④ 橇(氷の上などで物などを運ぶ)

道具)

⑤ 湯湯婆(お湯を入れて温める容器)

⑥ 悴む(生気がなくなって、やせ

細ること)

⑦ 山茶花(ツバキ科の常緑低木)

⑧ 霰(雨と雪が混ざったもの)

## 委員会のご紹介

「クリーン&セーフティ委員会」

先月に引き続き、委員会をご紹介致します。今月は「クリーン&セーフティ委員会」です。この委員会は、社内的美化や安全の強化を目的に行動しております。現場のパトロールや会社内の修繕・美化を行っております。建設会社にとって、安全衛生活動は、重要な役目を果たします。事故やトラブルが起きないようにパトロール等をしっかり行っていきます。宜しくお願い致します。



左から浅川、清水  
安藤淳一、都丸



## 暮らしの雑学・豆知識



～12月「第九」～

年末と言えばベートーヴェンの「第九」(交響曲第9番「合唱付き」)を歌われる方も沢山いらっしゃるようですね。今年はオーケストラの演奏予定があるようです。もとも「年末に第九を」というアイデアは1918年頃、第一次世界大戦が終わって平和を願う声が高まったドイツのライプツィヒで始まりました。その後、名門オーケストラであるライプツィヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団が、毎年の大晦日に「第九」を演奏し続けてきたそうです。クラシックから新しい年の勇気をもらいたいですね。

## 人権週間

法務省の人権擁護機関では、昭和24年(1949年)から毎年、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と決めました。その期間中は、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する偏見・差別、インターネット上における誹謗中傷なども加わり、様々な人権問題が依然として存在しているのです。

これらの問題を解決し、国連の持続可能な開発目標(SDGs)が掲げる「誰一人取り残さない」社会を実現するには、私たち一人一人が人権尊重の重要性を改めて認識し、他人の人権に配慮した行動をとる事が大切ではないでしょうか。この機会に、人権について改めて考えてみませんか。

漢字読めますか?  
解答

①かいろ(懐炉)

②うがい(嗽)

③あかぎれ(皸)

④そり(橇)

⑤ゆたんぼ(湯湯婆)

⑥かじかむ(悴む)

⑦さざんか(山茶花)

⑧みぞれ(霰)



〈発行〉 次回発行予定 1/3(月)

住まいの事なら  
何でもご相談ください!



**株式会社大五建設**

住所 富岡市上小林216-2

0120-388-406

## 求人募集!!

施工管理(現場監督)  
営業社員

詳しくは下記までご連絡  
ください。お待ちしております。

0120-388-406

(担当:都丸)

